
高等部

-
- 高等部で育成したい国語力
 - 国語科の指導計画
 - 「話し合うこと」における生徒の困難さ

高等部で育成したい国語力



相手意識をもってやり取りする

豊かな語彙力と表現方法を身に付け、自分の気持ちや考え、想像したことを適切な言葉で表す力

話し手が伝えたいことの内容を適切に捉え、互いに納得・合意を図りながら物事を進める力

【自立と社会参加】
社会で他者と共同・協働しながら、その子らしく精一杯生きる

高等部で育成したい国語力

国語科の指導計画

「話し合うこと」における生徒の困難さ

コミュニケーションの充実を図る 指導計画

- ・指導のまとめ方、順序、重点の置き方の工夫
- ・指導内容は相互の関連を明確化
- ・発展的、系統的な指導をねらった指導内容の配列

1学期	2学期	3学期
話す・聞く 読む 書く 知識・技能	話す・聞く 読む 書く 知識・技能	話す・聞く 読む 書く 知識・技能

3年間反復的・螺旋的に学習

高等部の年間予定と指導計画

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
新入生歓迎会		現場実習		夏休み	体験入学 教育実習	現場実習	学習発表会				
書く 話・聞	読む	書く	話・聞		話・聞 知・技	書く	読む	書く	読む	話・聞	
人間関係を築く①	説明文	読むことと関連	学習発表会に向けて		人間関係を築く② 文法等		物語文	読むことと関連	詩や古文等(他も〇×)	新入生に向けて	生徒の実態により、領域を決定

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	習熟度別グループで話し合い					体験入学 教育実習	現場実習	学習発表会	グループ混合で話し合い→発表		
話・聞			話・聞		話・聞					話・聞	
話す場面を意識して聞く 記録・質問			話し合いの進め方を学ぶ		つまづきのある部分を扱う					相手に応じた伝え方をしたり質問をしたりする必要性が生まれる	

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
今後の作文に生かす					教育実習 体験入学	現場実習	学習 発表会				
書く		書く				書く		書く			

推敲

書く

文の構成を
丁寧に

書く

つまづきの
ある部分を
扱う

書く

表現や語彙
を意識

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		現場実習		夏休み	教育実習 体験入学	現場実習	学習 発表会				
	読む	書く					読む	書く	読む		

読む

構造と内
容の把握
は丁寧に

書く

文の構成を
丁寧に

読む

表現や語彙
にも着目す
る

書く

表現や語彙
を意識

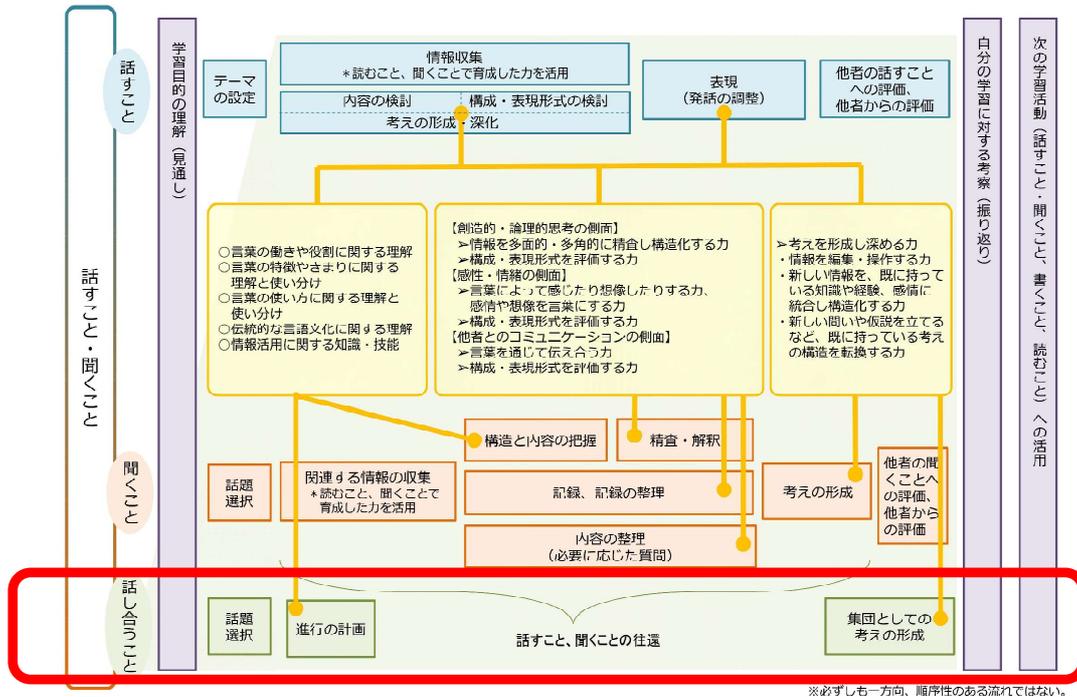
読む

読書の幅を
広げる

-
- 高等部で育成したい国語力
 - 国語科の指導計画
 - 「話し合うこと」における生徒の困難さ

話し合いとは

話し合いは、話すことと聞くこととが交互に行われる言語活動であり、それぞれの児童が話し手でもあり聞き手でもある。話し合いの過程では、「話すこと」と「聞くこと」に関する資質・能力が一体となって働く



話し合うこと:話すこと、聞くことの往還

【出典】中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会 国語ワーキンググループ(2016) 国語ワーキンググループにおける審議の取りまとめ,資料3.

「話すこと」で求められること

理由や事例を挙げて話す

話し手



【出典】光村図書出版株式会社(2020) 小学校国語「話すこと・聞くこと」「書くこと」の授業をつくる,p28-33.

「聞くこと」で求められること

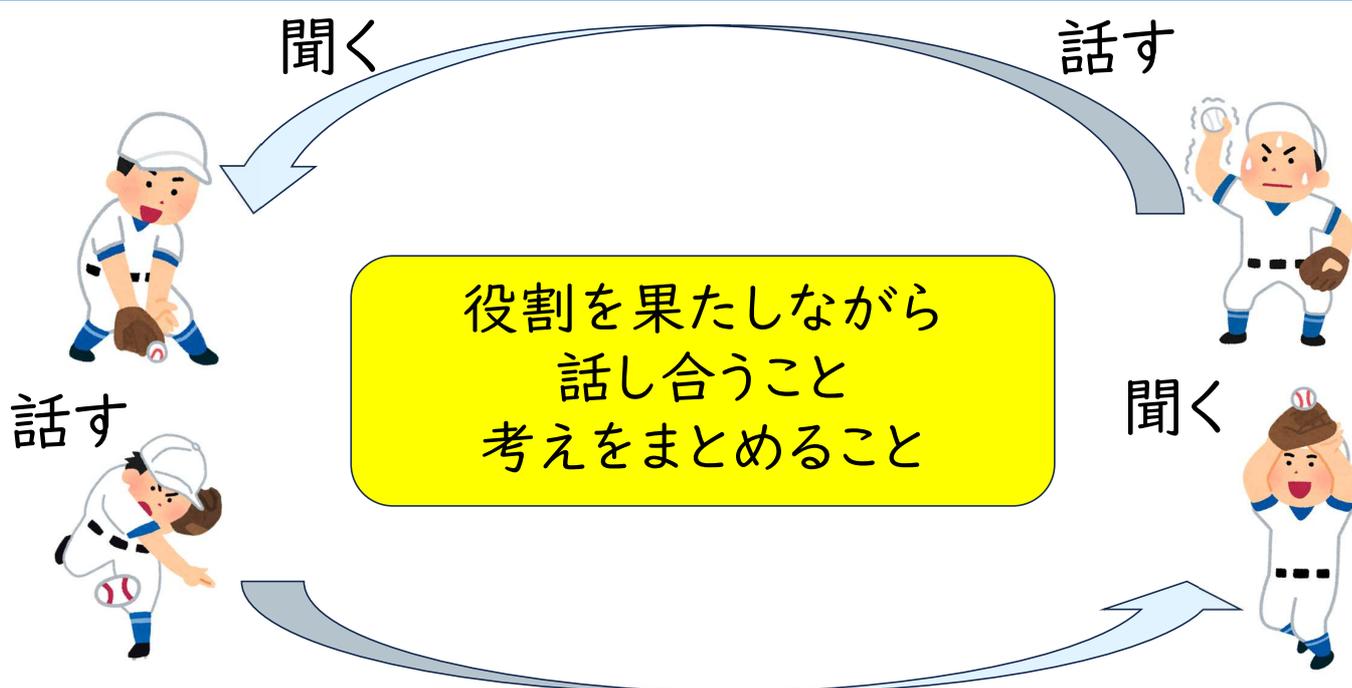


聞き手

話し手が伝えたいことや自分の聞きたいことを中心に捉え、自分の考えをもつ

【出典】文部科学省(2018)小学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編,p97-98.

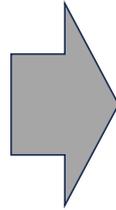
「話し合うこと」で求められること



【出典】光村図書出版株式会社(2020)小学校国語「話すこと・聞くこと」「書くこと」の授業をつくる,p28-33.

「話し合うこと」における生徒の困難さ

困難さ



指導上の
工夫の意図

手立て



「話すこと」で想定される困難さ(例)

話し手



【困難さ】
内言で思いや考えを
まとめることが難しい。

「聞くこと」で想定される困難さ(例)

聞き手



【困難さ】
会話の筋をつかむ
ことが難しい。

「話し合うこと」で想定される困難さ(例)

話し手であり聞き手



【困難さ】
即興的に判断すること
が難しい。

困難さに対する手立て(例)

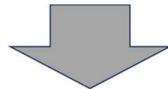
「話すこと」



「聞くこと」



「話し合うこと」



【手立て】

付箋を活用する

「話すこと」(事例①M16)

話し手



【困難さ】
内言で思いや考えを
まとめることが難しい。



【指導上の工夫の意図】

思考(思いや考え、それを支える理由)を整理し、聞き手に伝えることができるようにする。

生徒M16の様子

付箋に自分の意見を書き、その意見を聞き手へ話すことができた。

【手立て】

・付箋を活用して思考をアウトプットすることで、思いや考えを視覚化する。
・付箋を指さしながら意見を言うことで、聞き手に伝えることができるようにする。

「聞くこと」(事例②F2)

聞き手



【困難さ】
会話の筋をつかむ
ことが難しい。



【指導上の工夫の意図】

話合いの展開(目的・場面・文脈・状況等)を踏まえて、話し手の意見を聞けるようにする。

生徒F2の様子

話し手が付箋を指さしながら話すのを聞いていても、話合いの展開をつかめていない場面が見られた。

【手立て】

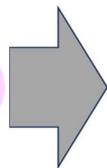
・話し手が付箋を指さしながら話をするので、聞き手(F2)が話合いの展開を把握できるようにする。

「聞くこと」(事例②F2)

聞き手



【困難さ】
会話の筋をつかむ
ことが難しい。



【指導上の工夫の意図】

話合いの展開(目的・場面・文脈・状況等)を踏まえて、話し手の意見を聞けるようにする。

【手立て】

・話し手が付箋を指さしながら話をするので、聞き手(F2)が話合いの展開を把握できるようにする。

【手立ての改善】(案)

・話合いの展開の大枠をあらかじめ設定し、それに沿って進める。

生徒F2の様子

話し手が付箋を指さしながら話すのを聞いていても、話合いの展開をつかめていない場面が見られた。

「話し合うこと」(事例M16)

話し手であり聞き手



【困難さ】
即興的に判断することが難しい。

【指導上の工夫の意図】

話し合いで出た意見を踏まえて話をつなぎ、意見をまとめられるようにする。

生徒M16の様子

付箋を指さしたり見たりしながら、同じ言葉や似ている意味の言葉をまとめようとし、会話がつながった。

【手立て】

付箋を操作しながら話し合うことで、分類する・比較する・関係づける・順序立てる・構造化するなどを、見えやすい形で表現できるようにする。

困難さに対する指導上の工夫の意図、手立てより

困難さ



指導上の
工夫の意図

手立て



指導上の工夫の意図をもった

手立てが必要である。

